

「野川河床整備工事(北その6)」工事説明会の議事要旨

1. 開催概要

日 時：令和7年10月15日(水) 19:00～20:00

場 所：調布市大町ふれあいの家 大集会室

参加者：6名

2. 主なご質問・ご意見と都の回答(要旨)

番号	ご質問・ご意見	都の回答
1	工事説明会の周知方法について教えてほしい。工事現場近くの方には工事について確実に伝えるべきと考える。	工事説明会の開催については、周辺の自治会長や近隣集合住宅の管理人へ事前に説明の上、配布する方法や範囲を検討し、お知らせチラシを提供している。要望にお応えする形で一部にはメールでもお知らせしている。 なお、チラシの配布範囲を再確認の上、現場近くの方への周知方法については検討する。 ⇒(説明会后)現場近くの住宅等に説明会資料をポスティングした。
2	下流から上流に向けて河床整備を進めているとのことだが、どの範囲まで整備を続けるのか。また、いつまでかかるのか。	河床整備は野川大沢調節池付近の樺沢橋(はんざわはし)までを計画している。引き続き上流に向けて整備を行っていくが、現時点で正確な期間は答えられない。
3	下流では、箕和田橋上流左岸の緑地を搬入路として2年ほど使用していた。今回工事では菊野台三丁目緑地を使用するとのことだが、次回工事以降も使用する予定があるのか。	今回設置する菊野台三丁目緑地の搬入路は、本工事を含めて今後実施する3件の工事(箕和田橋～野川橋区間)で使用する予定である。
4	菊野台三丁目緑地の樹木を伐採するのか。	高木(ヒマラヤスギ1本)および中木(キンモクセイ1本)は工事用ヤード確保のため、伐採する。伐採した樹木については、本工事も含めて今後実施する3件の工事完了時に、同じ種類の樹木を植樹する。なお、階段裏の高木(ムクノキ1本、コナラ2本)は剪定を行う。
5	時間50mm降雨に対する河道整備とのことだが、50mmの雨が何時間と降り続いても大丈夫なのか。	降り始めから徐々に強まり、ピークの最大降雨を過ぎて徐々に弱まる降雨を想定して計画しており、最大降雨が何時間も続くことは想定していない。 (補足) 計画に使用している降雨のイメージは、以下のURLの p.3 図2「時間75mm降雨時の対策分担イメージ」を参照してください。 https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/kensetsu/000005863
6	今回工事で新しくできる階段は何箇所か。	管理用通路から降りる高水敷階段は左岸に1箇所、水辺に降りる低水路階段は左右岸にそれぞれ1箇所設置する。(今回工事で階段を設置する箇所には、右岸側にすでに高水敷階段が1箇所あることから、今回の工事完了後は、左右岸を飛び石を利用して渡ることができるようになる)
7	川の中に生えているクワや護岸から伸びているエノキは伐採するのか。昔は生えておらず、川の流れるには邪魔になると思っている。	今回整備範囲内の河道内樹木は、洪水流下の妨げとなるため、すべて伐採する。なお、河川環境への配慮も踏まえ、洪水流下に大きな影響がない樹木の残置については今後の工事においても検討していく。
8	前回工事では(高水敷)階段を設置していないようだが、考え方を教えてほしい。	前回工事区間の高水敷階段は、右岸側に1箇所既設があり、左岸側は区間のすぐ下流側に既設があるため、新設はしていない。低水路階段については1箇所設置している。なお、階段(低水路階段、高水敷階段)の設置箇所は、洪水流下の妨げとならないスペースの有無や背後地の利用状況を考慮して選定している。